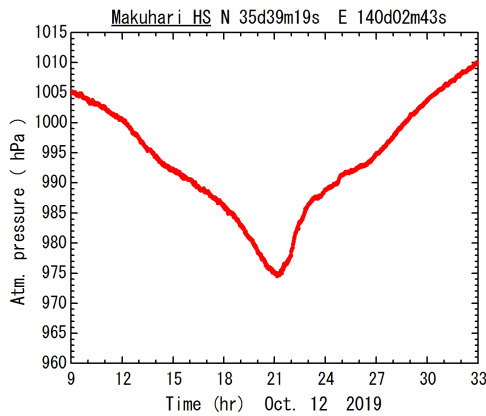


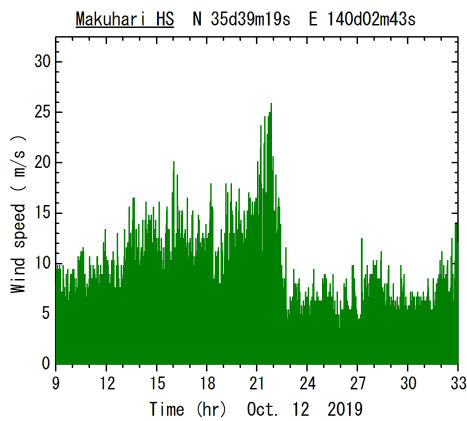
台風19号

(2019年10月12-13日)の気象観測結果



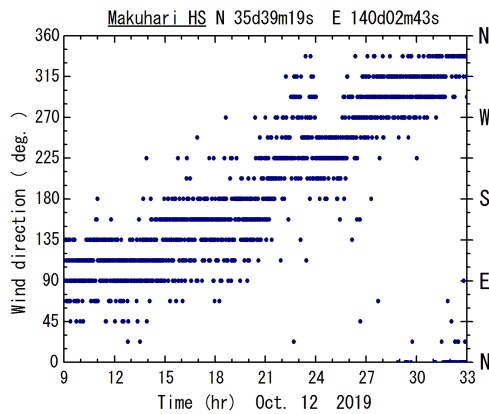
気圧変化

気象情報などでは、台風19号の中心気圧は、上陸後の都内で21時過ぎに960 hPaであった。本校では同時刻に最低気圧975 hPaを記録している。



風速変化

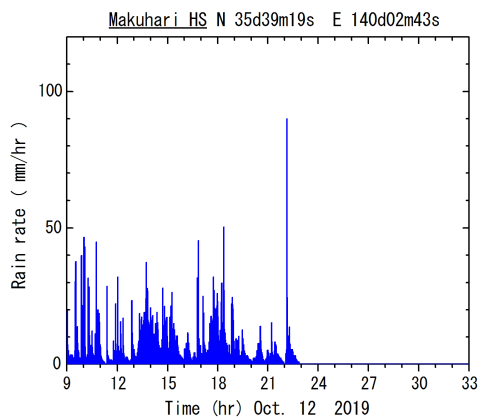
台風が通過してから、22時30分過ぎには、急速に風が弱まっている。最大風速は、22時近くに記録した25.9 m/sであった。瞬間風速は、30 m/s以上であったと考えられる。



風向変化

方位角 0° -->N 90° -->E
180° -->S 270° -->W

台風の通過にともなって、風向が少しずつ東寄りから西寄りへと変化している。このことは、台風の風は、中心に対して反時計に吹き込むことで説明ができる。



雨量変化

雨が断続的に強くなるようすが記録された。台風の進行方向前面の雨雲が発達していたことが顕著であり、24時以降の降雨はなかった。